

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

(1) 活動成果
<p>カフェ型スポーツのロールモデルとなるフロアボール体験事業を予定通り行うことができた。</p> <p>当法人の活動拠点である遠軽町においては、4月から2月までで、33回開催でき、参加者は延べ700人に上った。未就学児から大人まで、幅広い世代の参加があり、不定期でも気軽に参加できる場であり続けることができた。特徴は、ほぼ毎回新規参加者がいることである。</p> <p>旭川市では、月一回計11回を予定通り行うことができたが、参加者がやや少なく、一回当たり10人を超えることができなかった。</p> <p>年度途中となるが、あらたな活動も生み出だした。遠軽町内の丸瀬布という地域は過疎化が進み子供たちのスポーツに接する機会が少なくなっている地域なのだが、そのコミュニティの中で、気軽に、誰でも、不定期でも参加できるフロアボールのカフェ型活動を始動させた。幼稚園年長さんとその親御さんの参加がメインで、今後、多世代交流が盛り上がることが期待される。</p> <p>我々はカフェ型スポーツとしてのフロアボール活動を、広めていくことを目的として活動しているが、北見市の方からフロアボールをやりたいとの連絡を受け、道具の供給やルールブックの供給を行ったところ、北見市でも、多世代交流のできるフロアボール活動が生まれた。</p> <p>また、当別町の方からも連絡があり、同じようにサポートをしたところ、定期的にフロアボール活動を行うに至った。</p>
(2) 今後の課題
<p>遠軽においてはカフェ型の趣旨を理解してくれる人が多く、多くの参加者を得ることができた。</p> <p>しかし、旭川では、広告力の不足からか、なかなか参加者を増やすことができなかった。今後の課題として、現地の何らかの組織と協働して、地域のカフェ型スポーツ活動を生み出す努力をしなければいけないと感じている。</p> <p>また、一つの目標として、社会に認知され、影響力のある企業とコラボした継続的企画を興したいと思っている。その企業の福利厚生コンテンツとして初めてもいいし、企業のCSRに組み込んでもらい、企業の広告をしながら地域のカフェ型活動を生み出すという方法でもいいと思っている。</p> <p>特に我々がコラボしたいと考えている組織は、スポーツ指導を専門に行っている企業である。地域でスポーツを教えるという組織に、フロアボールを知ってもらい、取り入れてもらえたならば、ますます我々の目的達成の可能性が高まると考えている。そのために、フロアボールのアスリートの就職先として、そのような企業を紹介できるようなシステムづくりを仕掛けたいと思っている。</p> <p>財政的には、助成金の比率が多く、まだまだ安定した財政状況ではないのが課題である。これをもっと助成金に頼らない体質にしたいのである。そのためには、当法人の活動を理解してくれる賛助会員を増やしていく、あるいはスポンサーを増やしていくしかないと考えている。</p>

II. 支出報告 (使途、数量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費用	金額	摘要
(1) 旅費	¥74950	旭川・遠軽の往復 258km × 25円 × 11回 = 70950円
		丸瀬布・遠軽の往復 40km × 25円 × 4回 = 4000円
		(ガソリン代としてなので領収書なし)
(2) 会場費	¥27450	遠軽フロアボールカフェの会場費 (4月から3月の分)
(3) 用具費	¥221128	スティック計 31本、ボール計 30個
		修理用ブレード 1個、ゴールネット一組
		ゴール枠部品 (矢崎イレクター) 一式
(4) 費		
(5) その他		
合計	¥323528	

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。





